

そのほかにも、弱く無防備な存在があります。それはしばしば経済的利益に翻弄され、無差別な利用に供される存在です。つまり被造物全体のことです。

教皇フランシスコ 使徒的勧告『福音の喜び』 215

地球はわれわれに共通の家で、神が人間およびあらゆる被造物との契約を結んだ場所である。相互の関係性を考慮せず、被造物の現実の間に神が定めた調和を無視することは、創造主に対する罪であり、生物多様性への攻撃であり、究極的にはいのちそのものに背くことである。

ラテンアメリカ司教会議 アパレシーダ 125

## 採掘産業

聖コロンバン会は、採掘産業が引起している天然資源の広範な枯渇と環境破壊の増大する脅威を注視している。多数の多国籍企業、政府、国際開発金融機関が推進する、天然資源の集中的開拓を基本とする開発モデルにわれわれは異議を唱える。こうした天然資源の大部分は再生不可能で、採掘される国々では依存的状況が生まれる。この開発モデルは自然界を商品化し、神のあらゆる被造物のために意図された調和と均衡の関係を乱すので、しばしば社会的対立や人権侵害を生じ、生物多様性を危険にさらす。

取り残されてきた地域社会や、搾取されてきた自然界と共に生きるというわれわれの宣教活動の経験は、聖書とカトリックの社会教説からの見識および経験的科学的を伴って、被造物世界との正しい関係を回復する方法の追求へとわれわれを駆り立てる。被造物中心の神学によって見えてくるのは、倫理的態度を取るべきなのは、神および他の人々とわれわれとの関係だけではもはやなく、神のあらゆる被造物との関係も入れなければならないことである。

### 聖コロンバン会の懸念

#### 水質と水利用への脅威

水はいのちにとって不可欠である。採掘産業は河川流域・分水嶺をますます破壊し、産出活動のためにいっそう大量の水を必要とするので、優先されるべき人間や農業・環境の必要性と競合するようになっている。水質汚染と流域の損害・枯渇は、自然界と人間界の双方に極端な脆弱性をもたらすことになる。

#### 未開拓領域への拡大と多様性の喪失

高まる天然資源の需要が生み出しているのは、開拓・採掘に使用される新技術、国際市場

での高価格、多国籍企業に採掘権を供与する国々への経済的・法律的なインセンティブとあいまって、採掘産業が未開拓領域に大幅拡大する状況である。それは河川の源流域、氷河系、森林、山頂、深海平原、原住民の先祖伝来の土地、小作農の農村、自然保護地域などである。これによって原初の状態にあるユニークな生態系の生命や、その土地の経済活動、伝統的文化、水の供給が危険にさらされる。漁業、農業、林業も採掘産業の新しいやり方によって変容させられる。バイオ燃料やバイオマスの需要と肥育させた家畜類の需要があり、従来からの富裕国と新興富裕国の食肉需要を満たすためである。

#### 誤った解決策

鉱物、石油やガスを日常的に入手・利用することはいっそう困難になる。こうした資源が集中的に埋蔵されているのは海底でも地下でもさらに深いレベルなので、より多量のエネルギーがなければ採掘できず、それに伴って排石など大量の廃棄物が出る。採掘と資源加工の技術的難点が明白になるので、採掘産業は新しい技術と方策を開発して資源採取をやりやすくする。それは水圧破碎、脱塩、遺伝子組み換え作物の単式農法などであり、これらすべての方法は環境への潜在的影響について懸念を抱かせる。このような技術は水、電力、農薬などエネルギーや資源を大量に必要とする。もたらされるのは水供給の汚染、炭素排出量の増加、そして地域社会への社会的文化的抑圧の増大である。

採掘産業は人間と自然へのダメージ緩和の方策によって、みずからのイメージを環境に優しいものにしようとしているが、そこには問題のあることが多い。たとえばカーボン・クレジット [CO<sub>2</sub> 排出権取引]、カーボン・オフセット [CO<sub>2</sub> 排出量に見合う金額を CO<sub>2</sub> 削減対策費用として支出] などの方策は、統合的な排出削減戦略の一環として実施されない限り、企業、政府、関係機関、個人が政策・生活様式の変更なしに有害な資源依存を続けることを許してしまう。

#### 「御誂えの」法律

採掘産業はその活動を容易にするよう企図されることのある法律体系の恩恵を受ける。世界銀行や国際通貨基金などの国際開発金融機関の勧告に促され、二国間・多国間貿易協定を通して法的枠組みが改変され、採掘産業が不釣り合いなほどの利益を享受することになる。例えば、チリやアルゼンチンでの山頂を除去する採掘方法が禁止されていたのは、バリック・ゴールド社の起草によるチリーアルゼンチン二国間協定が2000年に署名されるまでだった。パスクア・ラマとして知られるこの協定は、氷河の生態系、源流域に影響を及ぼし、下流の地域社会の健康な生活状況を危険にさらすとして以前は禁じられていた鉱山計画を許可してしまった。同様にTPP（環太平洋パートナーシップ）などの貿易協定は、国が適用する労働者・環境保護の方策の結果生じた収益損失について、政府に対する訴訟を起こす手段が準備されている。

### 脅かされる文化と人権

採掘産業が急増する多くの地域社会では不平等が増大する。企業幹部は労働者を犠牲にして高給を得ることが多く、地域社会の収入源や地域経済は弱められる。暴力行為、売春関連犯罪、薬物乱用の増加傾向から、地域連帯のネットワークは脅かされ、現地住民や農民は自分たちの土地を失い、環境汚染や破壊に直面して都市へと移動を余儀なくされるので、それまでの生計手段を続けることができなくなる。社会の対立は増え、多くの場合で政府や企業は正当な異議申し立てを犯罪扱いしたり、抗議行動のリーダーの生命を危険にさらすことで、反対派を黙らせようとする。

## 聖コロンバン会の対応

### 対立のある地域社会との連帯

聖コロンバン会は採掘産業による影響を受けている国々で生活し活動して、採掘事業と関連づけられる人的酷使と環境の不正利用を直接見聞している。われわれは採掘産業反対の立場をとる他の修道会や原住民、地域社会リーダーたちと同様、脅しを受けてきた。極端なケースでは抗議した修道会や原住民、地域社会のリーダーが殺されることもあった。われわれは地域社会を支えるため、教育と動員活動を支援し、提唱活動やその他の連帯努力を通して、われわれの国際共同体とつなぐ働きをする。原住民であることの多い地域社会リーダーが鉱山会社への反対の声をあげる時、殺される標的にされるということを聖コロンバン会は何度も目の当たりにしてきた。

### 変革の提唱

聖コロンバン会は鉱山会社が本社を置く国々や貿易協定が交渉される国々においても生活し活動してきた。われわれが採掘産業の影響下の国々やその政策や活動が決定される国々に存在することは、地域社会の声ならびに聖コロンバン会と提携団体の生きた経験を、企業幹部の会議室や立法府にもたらす比類のない機会を提供している。経済的・環境的不正の根本原因に取り組む統合戦略の一環として、われわれは構造変化のための活動に専心する。政府機関、公共政策立案者ならびに企業との対話を通して、われわれは体系的変革への影響を及ぼし、提唱活動と教育によって地域社会が自分たち自身の物語を語るができるようにしたいと考える。

### 異宗教間の協力

聖コロンバン会は他の信仰伝統をもつ人々や団体の中から、採掘産業への抵抗など、環境問題に活発に関与する者たちを探し出し、われわれの努力の有効性を高めたいと思う。宗教的価値観に動機づけられた人々が力を合わせることで信念をいっそう強くし、さらに多数の人々に働きかけ、提唱活動の信頼性を増すものとなる。

## 信仰の形成

信仰ある人々や共同体を、カトリックの社会教説の見方を通して社会・環境問題についての理解と行動へと招くことは、聖コロンバン会の使命の不可欠な一部である。信仰形成が行われる機会は多様で、教区、学校、大学、宣教センター、短期の宣教奉仕、インターネットや出版物などがある。

## 社会的・環境的に責任ある投資活動（S R I）

宣教活動の会であるわれわれに託された資産は、世界のいのちのために使うよう求められている。金融資産の倫理的・社会的責任ある利用と投資による多様なアプローチに委ねる。ポジティブ・インパクト [社会的・環境的に肯定的影響のある] 投資のほかに、投資資金引き揚げもあり、特に石化燃料、採掘産業、武器製造など自然界搾取や人間のいのちの尊厳軽視がみられる企業を対象とする。

聖コロンバン会は、米国に本拠を置く「企業責任のためのインターフェイス [異宗教間]・センター」のメンバーであり、イギリスに本部のある「企業責任のためのエキュメニカル・センター」に参加することで、社会的責任ある投資と企業活動提唱に広く関与している。

## 出版物および意識を高める活動

インターネットおよび印刷出版物によって、聖コロンバン会は批判的考え方、行動、祈りに満ちた内省を呼びかける。例として以下を挙げる。

フィリピン—鉱山か食物か？ 報告書 [www.piplinks.org/miningorfood](http://www.piplinks.org/miningorfood)

森林の道行き ビデオ

[www.columban.org.au/about-us/columban-videos/stations-of-the-forests/](http://www.columban.org.au/about-us/columban-videos/stations-of-the-forests/)

地球の恩寵 四旬節の黙想

[www.columban.org.au/assets/files/pej/columbanmissionthegraceofearth.pdf](http://www.columban.org.au/assets/files/pej/columbanmissionthegraceofearth.pdf)

## ネットワーキング

聖コロンバン会は、採掘産業問題に取り組む多くの国内および国際的ネットワークとパートナーシップに参加している。

## 国際

[修道会] 総長連合と国際 [修道会] 総長連合の、正義・平和・被造物のインテグリティ・コミッションの採掘産業ワーキンググループ [www.jpicroma.org/#!mining/cfm6](http://www.jpicroma.org/#!mining/cfm6)

ラテンアメリカ司教会議（C E L A M）：正義と平和部会 [www.celam.org/d\\_justicia.php](http://www.celam.org/d_justicia.php)

レッド・エクレスリアル・パンアマゾニカ（R E P A M） [www.redamazonica.org/](http://www.redamazonica.org/)

イグレスィアス・イ・ミネリア（教会と鉱業ネットワーク）

オブザーバトリオ・デ・コンフリクトス・ミネロス・デ・アメリカラテイナ  
[www.conflictosmineros.net/](http://www.conflictosmineros.net/)

## 国内

オーストラリア

ジュビリー・オーストラリア [www.jubileeaustralia.org](http://www.jubileeaustralia.org)

フェイス・エコロジー・ネットワーク [www.faithecolony.net.au](http://www.faithecolony.net.au)

エコミッションNSWネットワーク

イギリス

ロンドン・マイニング・ネットワーク [www.londonminingnetwork.org/](http://www.londonminingnetwork.org/)

企業責任のためのエキュメニカル・カウンシル [www.eccr.org.uk](http://www.eccr.org.uk)

フィリピン原住民のためのリンク [www.piplinks.org](http://www.piplinks.org)

チリ

コアリション・エクメニカ・ポル・エル・クイダード・デ・ラ・クレアシオン  
([被造物ケアのためのエキュメニカル連合])

[www.cecudadodelacreacion.wordpress.com/](http://www.cecudadodelacreacion.wordpress.com/)

モヴィミエント・ソシアル・ポル・ラ・レクペラシオン・イ・デフェンサ・デル・アグ  
ア ([水の回復・保護のための社会運動])

[www.aguaenmarcha.cl/wp/](http://www.aguaenmarcha.cl/wp/)

コオルディナドラ・ポル・ラ・デフェンサ・デル・アグア・イ・ラ・ヴィダ  
([水といのちの保護のためのコーディネーター])

[www.derechoalagua.cl](http://www.derechoalagua.cl)

米国

インターフェイス・ワーキング・グループ・オン・エクストラクティブス  
([採掘産業についての異宗教間ワーキンググループ])

[www.columban.org/14530/columban-center-for-advocacy-and-outreach/extractive-industries-principles/](http://www.columban.org/14530/columban-center-for-advocacy-and-outreach/extractive-industries-principles/)

企業責任のためのインターフェイス・センター [www.iccr.org](http://www.iccr.org)

詳細紹介先：

エイミー・ウーラム・エチェヴェリア

正義・平和・被造物保全のための国際コーディネーター

[amywe@columban.org](mailto:amywe@columban.org)

1.301.503.9222/skype awe0106